

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築

少子高齢化・労働人口減少
社会基盤(インフラ)高齢化

➤ 安全・機能確保対策の必要性大
➤ 維持管理・修繕等の需要が増大

インフラ
(橋梁)
の現状

- 全国の橋梁ストックは約72万橋(国道3割、市町村道7割)
- このうち、建設後50年以上経過した橋梁が10年後には5割超
- 町の3割、村の6割で橋梁保全業務に携わる土木技術者不在

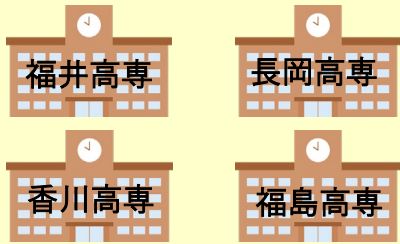
課題・問題

- 地方では高等教育を受けた技術者が非常に少ない
- インフラメンテナンス分野の実務経験・実務能力が乏しい
- 建設技術者のICTスキルが不十分で建設現場の生産性が低い

Society5.0を牽引するインフラメンテナンス人材
を育成するためのリカレント教育が急務



- 実務家教員育成研修プログラムを開発・実施し、産学連携でリカレント教育プログラムの講師を育成
- 若手建設技術者を主な対象とし、職務を離れることなく受講可能なリカレント教育プログラムを開発・実施
- 全国5カ所のリカレント教育拠点に育成した実務家教員を派遣し、リカレント教育プログラムを全国展開



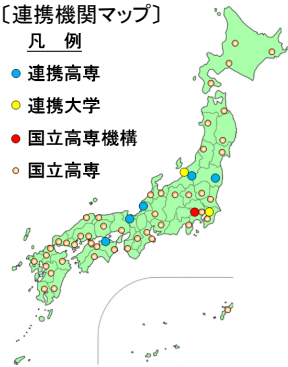
連携高専
(リカレント教育地域拠点)

- リカレント教育拠点の整備・運営
- 教育／研修プログラムの共同開発
- リカレント教育プログラムの実施
- リカレント教育への実務家教員の活用

【連携機関マップ】

凡例

- 連携高専
- 連携大学
- 国立高専機構
- 国立高専



全国の高専

▲ 連携高専

▲ 舞鶴高専
(中核拠点)

連携大学
放送大学

協力大学
長岡技術科学大学

教育コンテンツ
リカレント講座開設

社会人入学

修士課程
教育コンテンツ

講座受講者の推薦

教育プログラムの
共同開発

実務家教員の派遣
教育プログラムと
eラーニング提供

社会基盤メンテナンス教育センター
(リカレント教育中核拠点)

- リカレント教育中核拠点の整備・運営
- 実務家教員育成研修プログラムの開発・実施
- リカレント教育プログラムの開発・実施
⇒ eラーニング+講習会(アクティブ・ラーニング)
- オンライン学修環境の管理・運営とeラーニングの提供
- 橋梁メンテナンスに関する技術資格認定
- 実務家教員としての資格『専門教士(建設部門)』認定
- 職業実践力育成プログラム(BP)の認定申請
- 学修履歴と指導履歴の記録・管理・証明



- 実務家教員研修プログラム受講者の派遣
- リカレント教育プログラム受講者の派遣
- 教育／研修プログラムの共同開発
- リカレント教育事業継続のための支援



連携企業

+地域連携

舞鶴高専：京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会
連携高専：各連携高専所在地域の地域連携協議会

外部評価

社会基盤メンテナンス
技術レベル検討委員会